



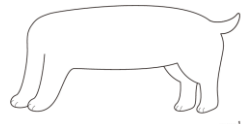
# 3歳児クラス 6月 第2回 「どろんこハリー」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

## シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>保：ペープサートを軽快に動かしながら登場。自己紹介するなどお話の導入となる内容で、講師と会話。「これからちょっと街に遊びに行ってくる。じゃあね、行ってきます」</li> <li>講：「行ってらっしゃい」と送り出し「ハリーどこで遊んだのかな？ちょっと見てみましょうか？」とお話を始める。</li> </ul>	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>★絵本</li> <li>★iPad(シアターセット)</li> </ul> ペープサート (しゆぬ)	保育士の役割	
読み方	①ハリーが泥だらけになっていく様子を意識して読む。 ②途中「ハリーはどこかな？」と問いかけ、子ども達とハリーの見つけこをしながらお話を進行する。 ③「びよん」「すっとな」「じーっと」等擬音を強調して表現する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペープサート持って登場</li> <li>・子ども達と一緒にストーリーや会話を楽しむ</li> </ul>	

## がくしゅうタイム

活動①	ねらい	記憶	ストーリーを思い出し、質問に答えることができる	
設問	お話を思い出して質問に答えましょう			なし
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「ハリー、お家に戻れて良かったねー」</li> </ul>			教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「今日は先生からクイズ」と意欲を引出し、クイズ形式で子どもから言葉を引き出しながら、楽しくお話を思い出していく。</li> </ul> 出題例：「第1問。ハリーが最初嫌いだったことはなんですか？」 「第2問。ハリーが庭に埋めたものは何ですか？」  絵本で正解を確認しお話を思い出させ、賞賛して終了。ハリーへの興味を深めたところで<活動②>へと進む。			保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達の解答状況を見守り、必要に応じてフォロー</li> <li>・賞賛</li> </ul>
	教材	★絵本		
活動②	ねらい	巧緻性	指示を理解して折り紙を折り、犬の顔を作ることができる。	
設問	折り紙でハリーの顔を折って、ハリーを助けてあげましょう			
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>保：「先生大変！ハリーの顔が…」とプリント持って登場。</li> </ul>			教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「ハリー？」とプリントを子ども達に提示。「無いね！何が無い？」顔がないことを子ども達から引き出す。「大変！顔どこに行ったのかな？」</li> <li>保：「こんなところに顔が…」※折り紙の目がある方を表にして▽の向きで提示。</li> <li>講：「これがハリー？」と言いながら受け取りプリントの顔部分にのせて見せる。「何か変だね…」子どもからの意見も聞きながら「耳が無いね。治してあげようね。」と見本行動。左(右)の角を「とんがりお耳、こんにちは」と言いながら折り下げ「アイロン」で折り目をしっかりつける。もう1つの角も同様に折り下げ、垂れた耳を左右を作る。最後に下の角を少し折り上げ、鼻に見立てて顔の完成(詳しくは映像にて確認してください)。プリントに貼る(テープのゴミは皿の中)</li> <li>保：「僕達にも顔を作って」と配布プリント提示。</li> <li>講：「大変！顔が無くなって困っているお友達がこんなにたくさん！どうする？」「みんなも顔作ってみる？助けてくれる人！」と意欲を引き出して折り紙配布。 ※配布する時、目のある方を表にして▽の向きで配布する。 ※クラスの状況によっては折り紙をプリントに貼った状態で提示。耳と口を折るだけの活動にしても良い。</li> <li>子：見本同様に折り紙を折る。 ※状況に応じて講師は再び子どもと一緒に折り方見せながら折る。</li> <li>保：プリント配布。</li> </ul>			P1(両面テープ付き) △折り紙(目シール付) 1人1枚 皿(シールゴミ用) 紙テープ 1人1本 ※必要に応じて片側に両面テープを付けておく ★クレヨン 保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント、折り紙 提示</li> <li>・プリント、折り紙 配布</li> <li>・子どもの行動を見守り、必要に応じてフォローする。 ※特にアイロンの仕方はしっかり伝えていく</li> <li>・エレピ演奏</li> <li>・賞賛</li> </ul>
	教材	P1(両面テープ付き) △折り紙(目シール付) 1人1枚 皿(シールゴミ用) 紙テープ 1人1本 ※必要に応じて片側に両面テープを付けておく ★クレヨン		

<ul style="list-style-type: none"> <li>子：プリントを受け取り、折った顔を貼っていく。</li> <li>講：早くできた子からクレヨンでハリーの体に色を塗る。状況を見て、1度みんなで見せ合い、賞賛。準備していた紙テープを配布し、プリントの端に貼り付けてみんなで♪お散歩を楽しむ。完成の喜びをみんなで共有し、最後は「ハリーお家に帰るって。今日もお風呂に入っね。またね」と活動を終了する。</li> </ul>	
--	--

<b>数チャレ</b>	<b>ねらい</b>	<b>比較</b>	数の違う2つの皿を比べ、多い方がわかる	教材
設問	2つのお皿（5対4）の比べっこ。多い方を指さしましょう。			おはじき皿
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回同様、おはじきが5個入った皿と4個入った皿を見比べて多い方をパッと指ささせ（ただし両方の皿をしっかりと見比べる）「ピンポン！」と正解を賞賛する。</li> <li>この活動では数えることより量感覚を鍛えることが大切。前回の状況（理解度）を踏まえて繰り返しチャレンジさせる。</li> </ul>			保育士の役割
				2つの皿を比較させる

### ■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	子ども達に問いかけながら、参加型の読み方が出来たか
活動①記憶	話の内容を思い起こしやすい質問が出来たか(事前の読み込みをしっかりと行ったか)
活動②巧緻性	子ども達が理解しやすいように折り方の指導が出来たか
数チャレ(5:4)	出来ない子対策をして臨むことを心掛けたか

### 学習タイム♪

\*\*\* テーマ・巧緻性 \*\*\*

#### ハリーのおともだち作り

学習タイムの活動の中で作ったハリーの顔の折り紙を、裏表を逆に折ったり、折り紙の色を変えたりして、たくさん作ってみましょう。写真はトイレットペーパーの芯を身体にして、顔とシッポと紐を付けています。お散歩遊びもできますよ。

お友達作って  
お散歩行こう！



折り紙上手のポイントの1つ「折り山をしっかり折る（アイロン）」の練習にもなります。繰り返したくさん折ってみましょう。



### 今月のえかきリズム

\*\*\* かさ \*\*\*



えかきリズム  
の動画は  
こちら



学習タイム  
の動画は  
こちら

